



国際森林認証 SGEC/PEFC



2026年5月21日
SGEC/PEFCジャパン
堀尾牧子



森林を取り巻く状況



森林の価値と恩恵・温暖化防止に果たす役割



生物多様性



コミュニティ



土壌



水



労働者



気候変動の緩和

森林はCO2を吸収し、固定してくれる

化石燃料を燃焼する工場はCO2を排出する

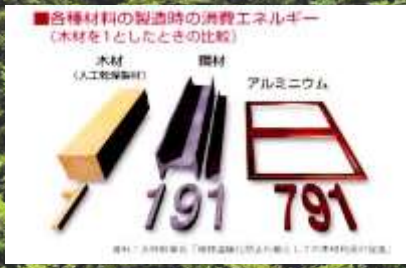
森林は炭素の貯蔵庫

化石燃料は天然ガス

炭素の森林（一樹齢の貯蔵庫）

化石燃料（一燃焼のかたまり）

化石燃料の使用や産業界から排出されるCO2のうち、毎年約38%を森林が吸収



他の素材に比べ、製造や加工に必要なエネルギーが少ない⇒CO2排出量が抑制

化石燃料の使用を抑制・代替⇒木材のエネルギー利用は、CO2濃度に影響を与えないカーボンニュートラル

世界の森林は減少している... 面積の推移



農地の拡大

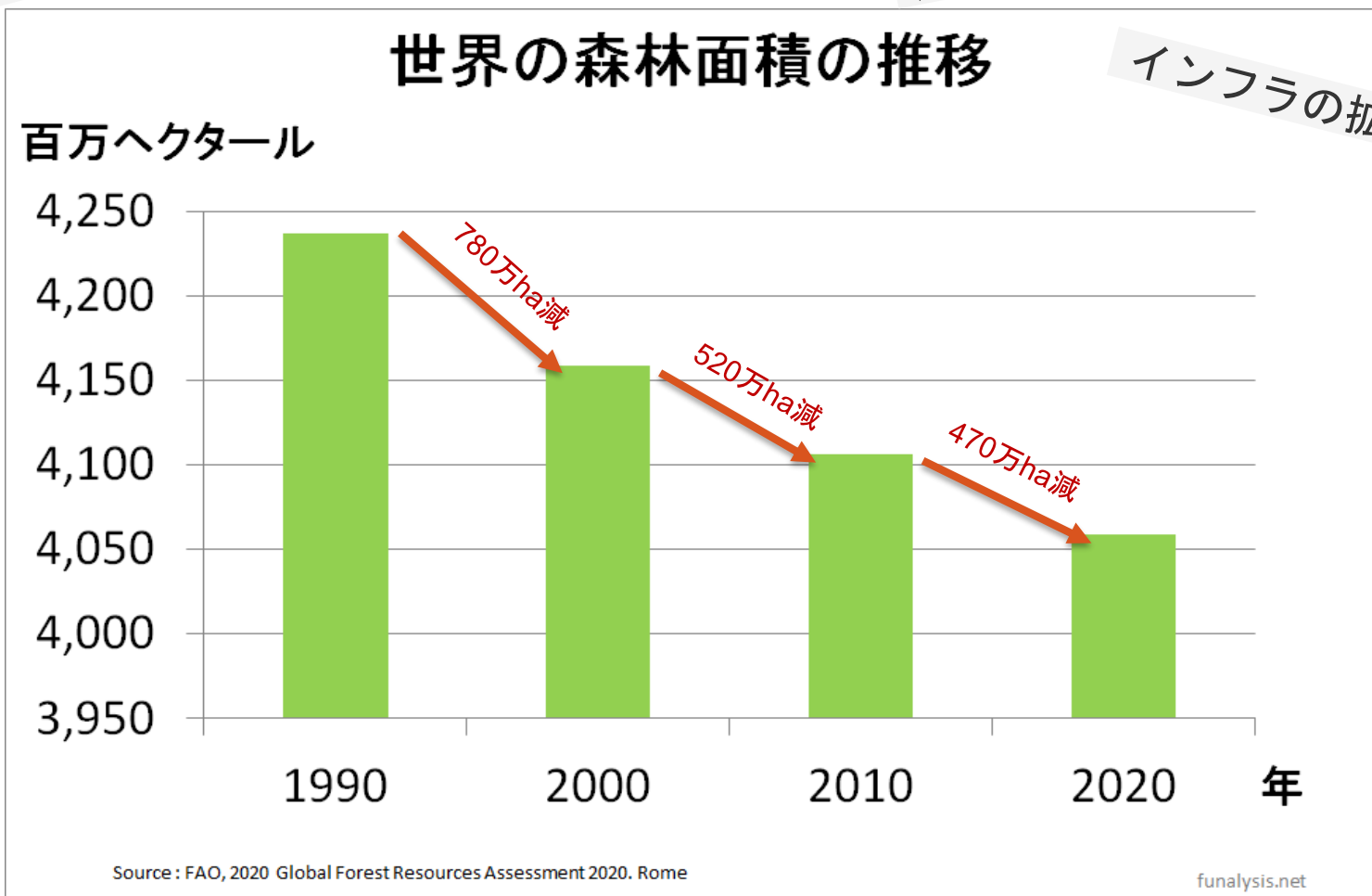
野火

畜産業

人口増加

違法で非持続的な伐採

インフラの拡大



新規植林等による増加を考慮しなければ、年平均1,020万ha (2015-20年) 減少





森林の量と質を守り、再生させるには

そのひとつの方法が . . .

森林認証制度です



森林認証について





森林認証発展の経緯

20世紀末 世界的な森林の減少・劣化が大きな環境問題に

1992年 地球サミット “持続可能な森林管理”

持続可能な森林管理の基準・指標の策定

- ・ヘルシンキプロセス（欧州）
- ・モントリオールプロセス（欧州以外の温帯）
- ・タラポトプロセス（アマゾン流域） 他

1999年 PEFC創設

ISO認証手順
を採用

1998年 ISO/TR14061

- 2004年 AFS（豪州）、CertforChile（チリ）
- 2005年 CSA（カナダ）、SFI（アメリカ）が相互承認・・・欧州から世界へ展開
- 2014年 SGEC（日本）加盟
- 2015年 アジア各国に急展開
- 2016年 SGECが相互承認 = PEFCへ

適切に管理された森林からの製品需要

エコラベルの氾濫（玉石混淆）

1993年 FSC設立

WWFなどが主導



森林認証の仕組み～森から製品まで



規格

持続可能な
森林管理の促進

森林管理(FM)認証



森林



第三者認証機関が
審査・認証

認証材・非認証材の分別、
原材料の認証情報のトレース

生産物(COC)認証



第三者認証機関が
審査・認証

- ・ CoCの方式
- ・ DDS実施(問題のある出処チェック)
違法伐採材が入っていないか？
出処に問題のある材はないか？
国、樹種、など
- ・ 商標の使用



小売店



ロゴマークがつく



SGEC/PEFC森林認証制度

世界最大の森林認証制度:PEFC



- ・ 小規模林家の要望に応えるため、1999年設立。
- ・ 世界各国で設立運営されている、グローバルな森林認証制度。
- ・ 各国の認証制度を加盟するアライアンスで、各制度を尊重、基準を審査し、PEFCが承認する (相互承認)システム
- ・ 非営利、国際NGO。本部はスイスのジュネーブ。

日本で生まれた森林認証制度:緑の循環認証会議



- ・ 日本独自の森林認証制度として2003年に設立。

2004年 PEFCアジアプロモーションズによる普及活動開始

- ・ 2014年PEFCに加盟、2016年にPEFCの相互承認を得る。
- ・ 以来、PEFCネットワークの一員として、認証活動を展開。

PEFCについて



PEFC とは？ その特長



非営利の国際NGO、本部は
スイスのジュネーブ



グローバルな規格を
ローカル(各国)の実情に基づき
実行：相互承認



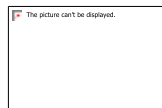
公的な基準(政府間プロセス)
を採択



認証プロセスはISO方式に準拠：
規格制定・認証・認定の独立性、
透明性



認証林面積・材供給量
は世界最大



環境団体ばかりでなく
産業界からの要望で設立



小規模森林所有者を考慮



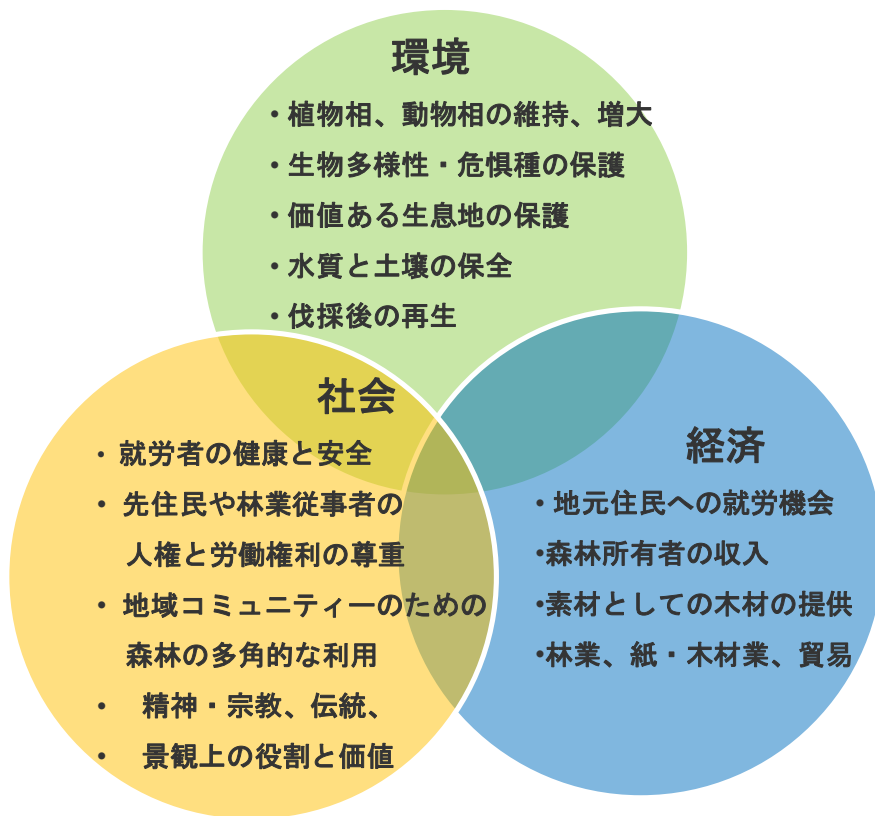
25年以上に渡る歴史
途上地域の規格作りを支援



PEFCの持続可能性基準



持続可能な森林管理基準 三つの柱



12

3つのバランスが重要





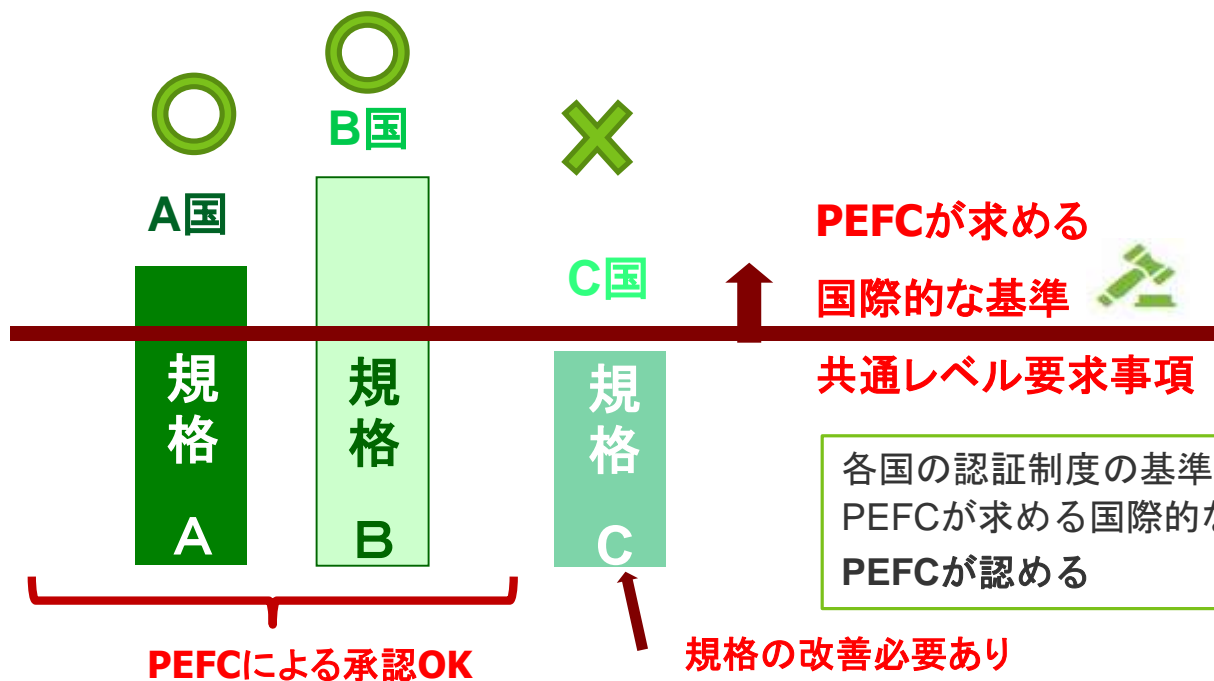
PEFCの特長：

(相互)承認の仕組み

各国の認証制度の主権・最的確な林業施業と森林管理方法を尊重しつつ

➔ 世界共通のPEFC持続可能性基準をベースにして、統合性を確保

PEFCによる(相互)承認





PEFC認証のモデル [ISOに準拠]

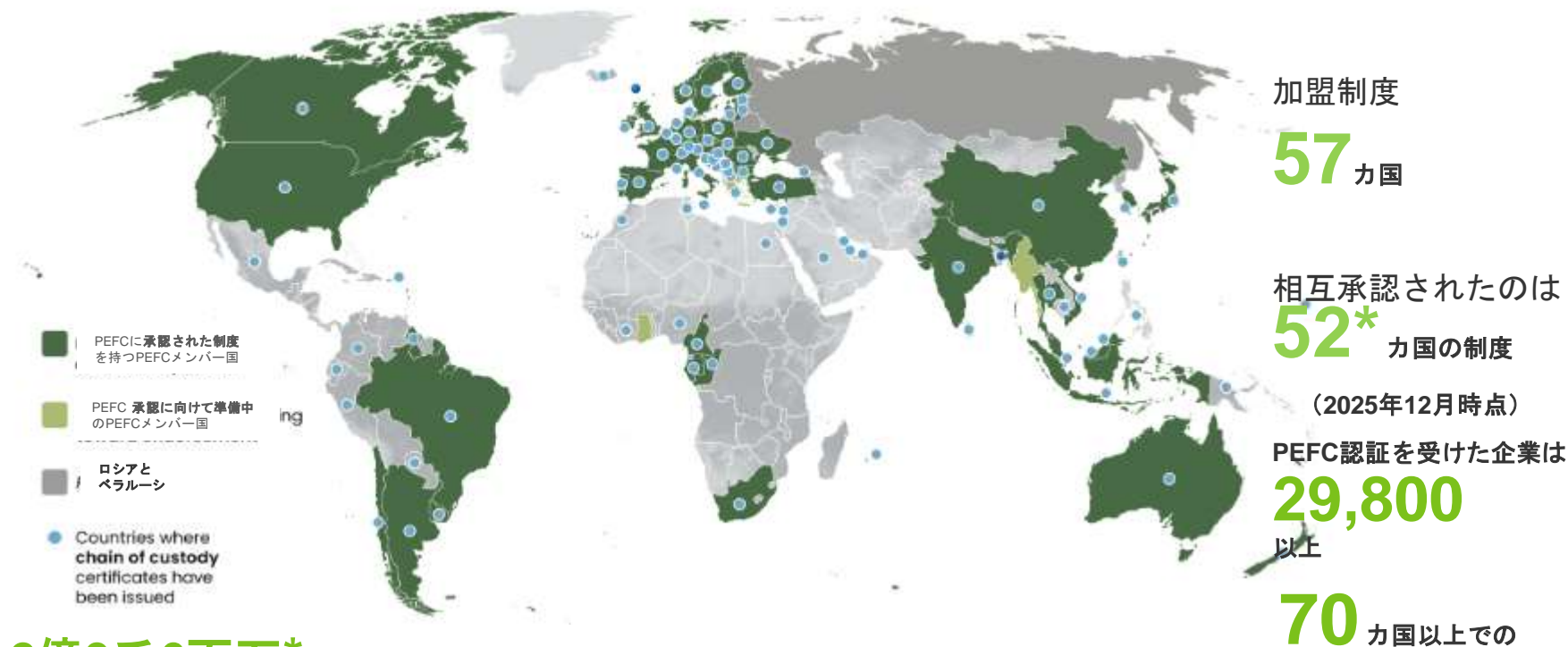
独立、公平、透明性の高い監査とトレーサビリティ





PEFCは認証原材料の規模が最大

ローカルとグローバルでの高い汎用性



2億9千6百万* ヘクタール

以上のPEFC認証林

*2025年12月時点 - ロシアとベラルーシを除く面積。2022年1月 - 3億2,200万ヘクタール

＝グローバルに認証された

森林の**71%**

＝日本の**7.5倍**

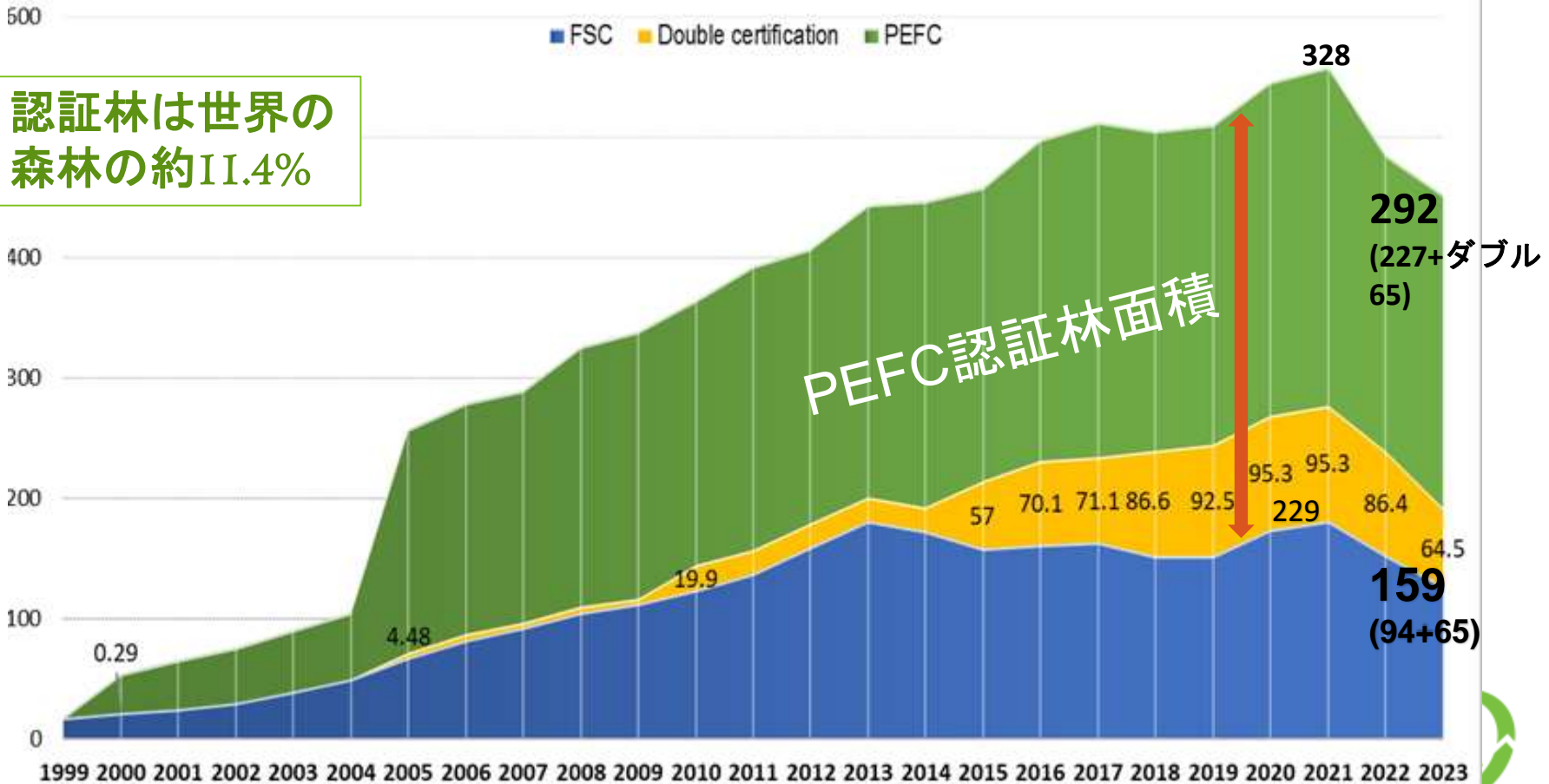


世界の認証森林面積－PEFCは最大の認証制度

世界の認証森林面積

の約75%が
PEFC認証 (292Mha)

PEFC、FSC及びダブル認証面積のグローバルな成長 (百万ヘクタール)



認証林は世界の森林の約11.4%

データソース

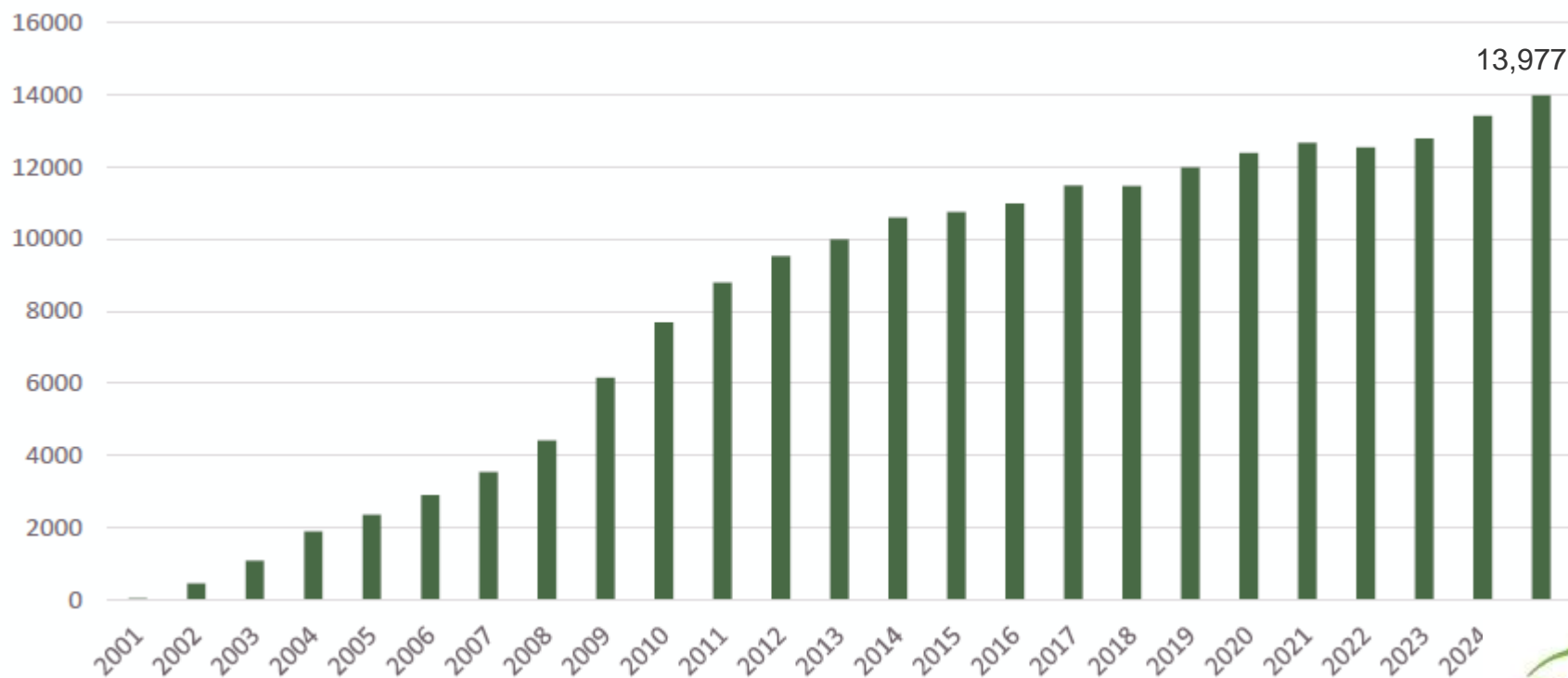
PEFC: 2023. 6 FSC: 2023. 3

ダブル認証: December 2022

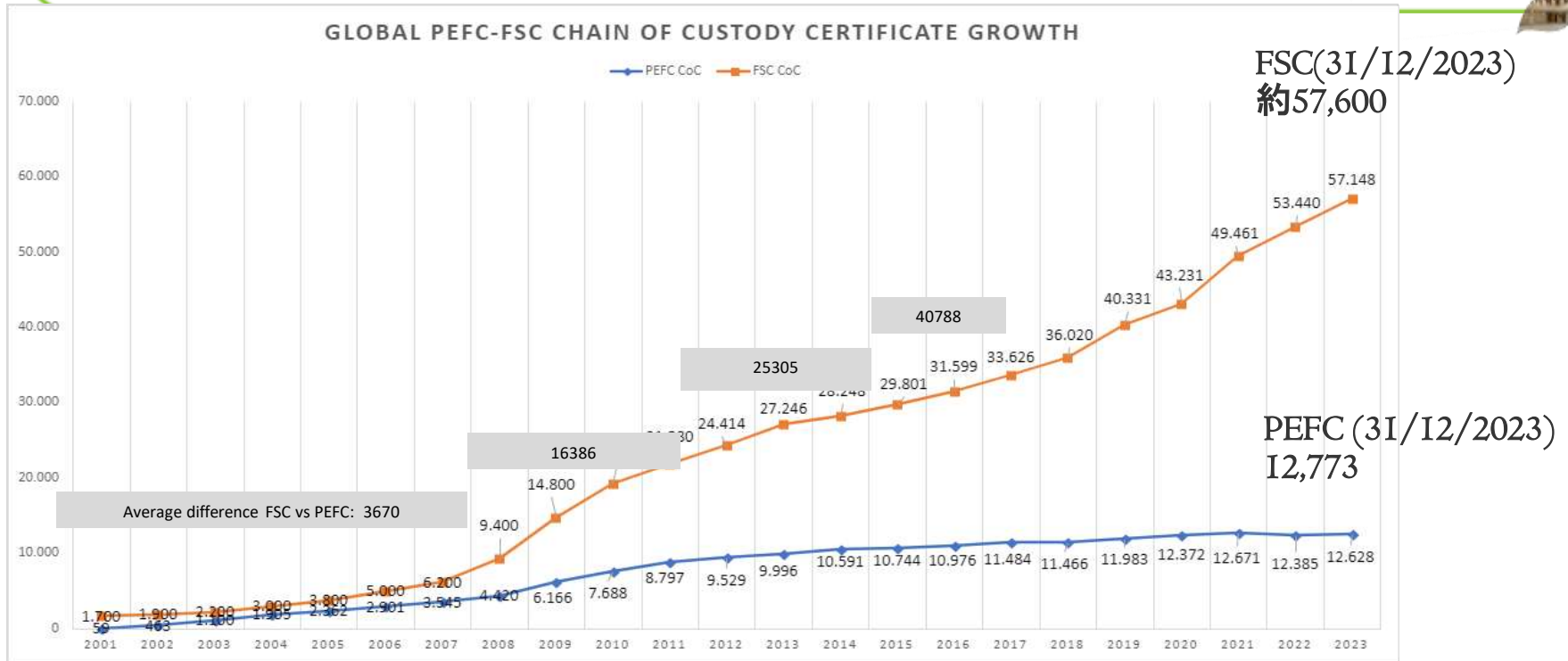
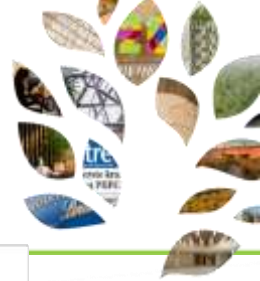


CoC認証企業数の推移

Data:
Dec 2025



世界のCOC認証—FSC が世界最大



FSC-COC は大きく伸びているが、FSCの認証森林は減少しており、将来のFSC認証原材料供給面で不安材料

2022→2023の変化

	認証林面積	COC認証件数
PEFC:	+ 2.37%	+3.13%
FSC	- 22%	+8 %





PEFCの政府による評価～信頼性

下記の国や団体による評価：

- 英国政府の公共調達方針(UK CPET)

- **PEFC: 96%**
- **FSC: 94%**

PEFC International.																		
Score	Sustainable Forest Management (SFM)									Chain of Custody (CoC)			Development, Application and Management (DAM)					PEM*
	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P1	P2	P3	P1	P2	P3	P4	P5	P1
2	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1				■				■							■			
0																		
n.f.																		

* PEM: Procedure on Endorsement of Certification System by Meta-system

Source: Results of the Evaluation of Category A Evidence: Forest Certification Schemes (October 2015)

- オランダ政府の公共調達方針(Dutch TPAC)

- **PEFC: 100%(2020年版)**
- **FSC: 88-91%**

FSC v4																	
Score	Sustainable Forest Management (SFM)								Chain of Custody (CoC)			Development, Application and Management (DAM)					
	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7*	P8	P9	P1	P2	P3	P1	P2	P3	P4	P5
2	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1					■			■							■		■
0																	

* Principe 7 has two scores: Low Income Countries: 1; Elsewhere: 2.

Source: Summary Report of the Final Judgment of PEFC (Jun 2010) & FSC (March 2015) by TPAC

- WWF (FSCの設立者)による規格強度の評価(CAT)

- **PEFC: 70%**
- **FSC: 76%**

- W食料・農業・林業への責任ある投資を促進するための ASEAN RAI

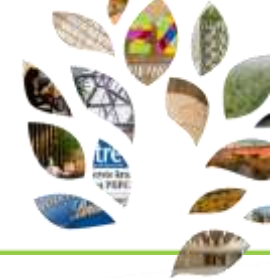
ガイドライン「持続可能な森林管理原則」が9.5点（10点満点）を獲得

気候債権ボンド(Climate Bonds Initiative)規格の「林業基準」に採用

SGECについて



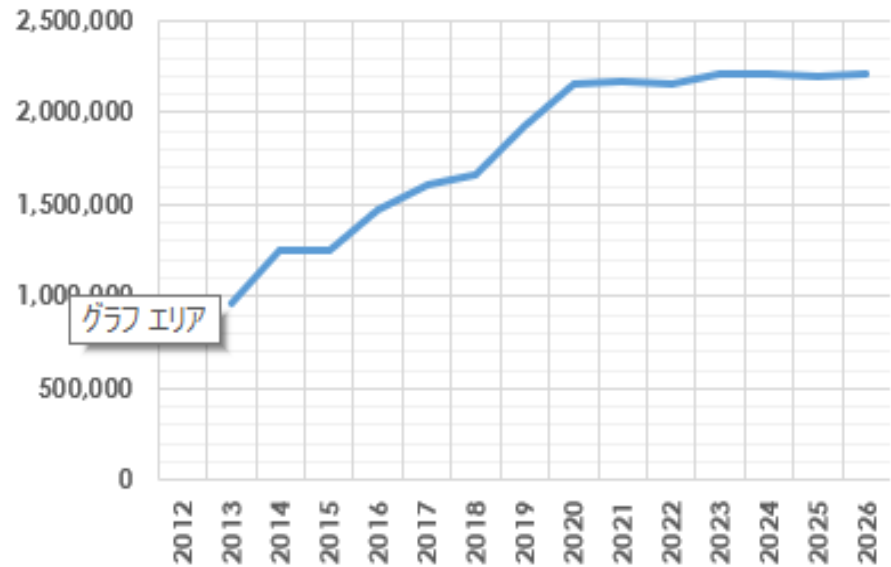
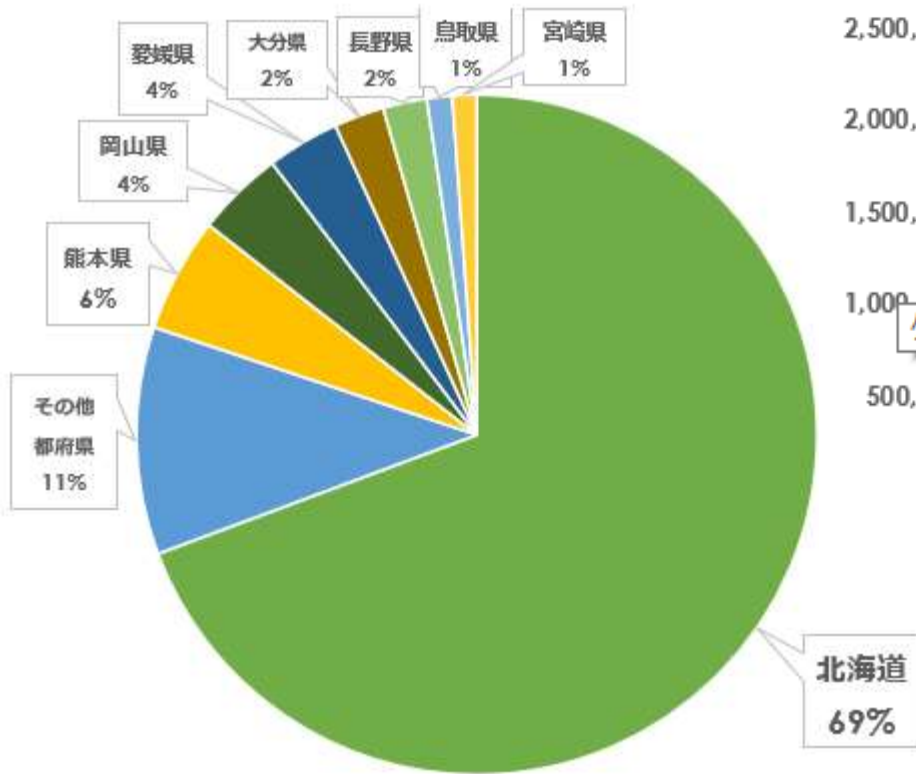
持続可能な森林管理の要求事項



規準文書 3	付属書 1 運用ガイドラインの主な規定
1. グローバルなカーボンサイクルへの貢献	二酸化炭素固定機能の向上、間伐材等の有効利用等
2. 森林生態系の健全性と活力の維持	伐採箇所の分散化、人工林については2年以内の更新、更新計画、天然林施業技術指針等
3. 森林生産機能の維持及び促進	認証林産物の有効活用、資源の持続的利用、林内施設は環境への影響を最小限に
4. 生物多様性の維持、保全及び増進	種、遺伝子の多様性の維持、原生林の人工林への転用は1%以内かつ正当化可能な状況、林地転用は認証面積の1%以内等
5. 保全機能の維持又は増進（特に水と土壌）	特に配慮必要な箇所の特定、尾根筋、水系及び道路沿いに保護樹帯等
6. 社会的・経済的機能の維持及び増進	アイヌ民族に対するFPICの実施、労働者の社会保険制度への加入、労働安全の確保等
(別項に森林管理の実行評価を規定)	パフォーマンス評価のためのモニタリングの実施等

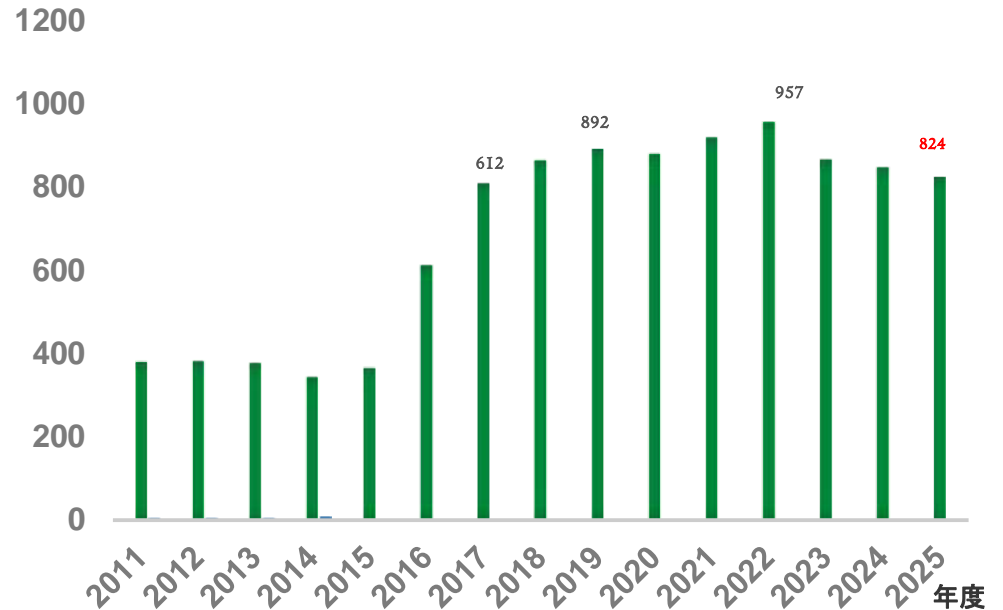
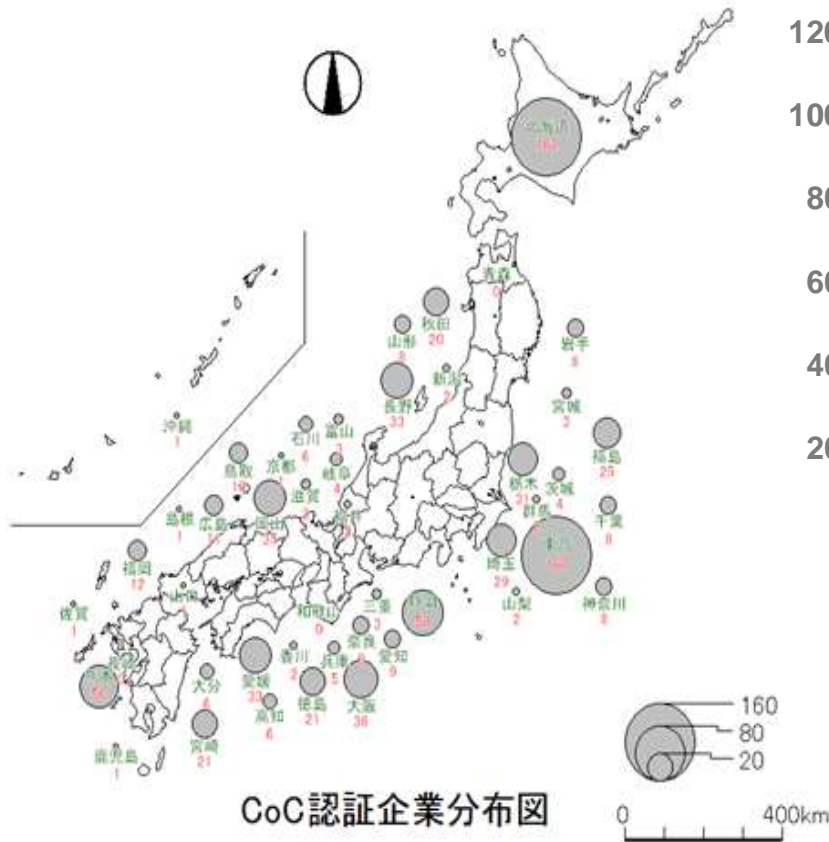
SGEC認証林面積分布と推移

日本国内の認証林:221万録(日本の人工林の約20%超相当)
2026年3月末時点



SGEC/PEFC-COC認証分布と認証数の推移

認証件数 493 件 (2026年3月末時点)
 認証企業 824 (2026年3月末時点)
 (企業数には生産者グループ参加企業数も含む)



※2023年にマルチサイトを精査し、「生産者グループ企業」に限定するとともに2024年にSGEC、PEFCのダブルに認証ついて、1件にカウントすべきものを1件に修正したため、総数としては減少

主要国では森林認証が当たり前

- ・ 欧州の主な製材品輸出国の認証林比率は8割を超えている。
- ・ “認証材でないと市場で取引もできない”国も

国別の森林認証面積(2022年)

単位：万ha

	森林面積	認証林合計				認証林比率		
		PEFC	FSC	重複	計	PEFC	FSC	計
スウェーデン	2,807	1,683	1,963	1,354	2,292	60%	70%	82%
フィンランド	2,222	1,899	225	203	1,921	85%	10%	86%
ドイツ	1,110	875	144	112	907	79%	13%	82%
オーストリア	400	335	0.06	0	335	84%	0%	84%
日本	2,510	223	42	5	260	9%	2%	10%

資料：PEFC StatisticsおよびFSC Statistics

(森林総合研究所・早船真智氏まとめ)

- ➡ 認証材が当たり前の潮流
- ➡ EUの森林減少規制 (EUDR)の施行
- ➡ 日本においてもクリーンウッド法の改正

所有者別SGEC認証森林の面積

(千ha)

(2019. 3月末 現在)

		国	都道府県	市町村	グループ協議会	森林組合	企業	その他	計
全国	面積	491	280	43	628	142	429	19	2,032
	比率	24%	14%	2%	31%	7%	21%	1%	100%



(2024. 3月末 現在)

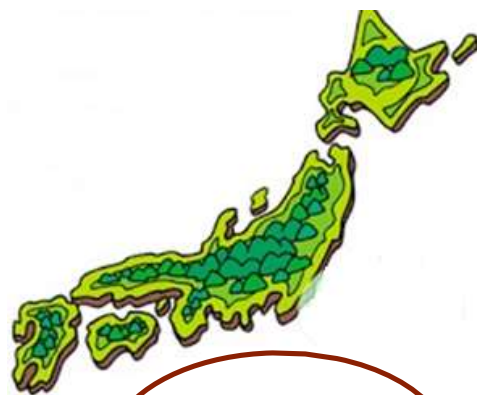
		国	都道府県	市町村	グループ協議会	森林組合	企業	その他	計
全国	面積	491	423	35	715	105	431	6	2,207
	比率	22.2%	19.2%	1.6%	32.4%	4.8%	19.5%	0.3%	100%

「日本国内の認証」から「世界標準」へ

国際森林認証制度



日本独自の森林認証制度



国内では
通用！

PEFCの(相互)承認
を取得！(2016年)



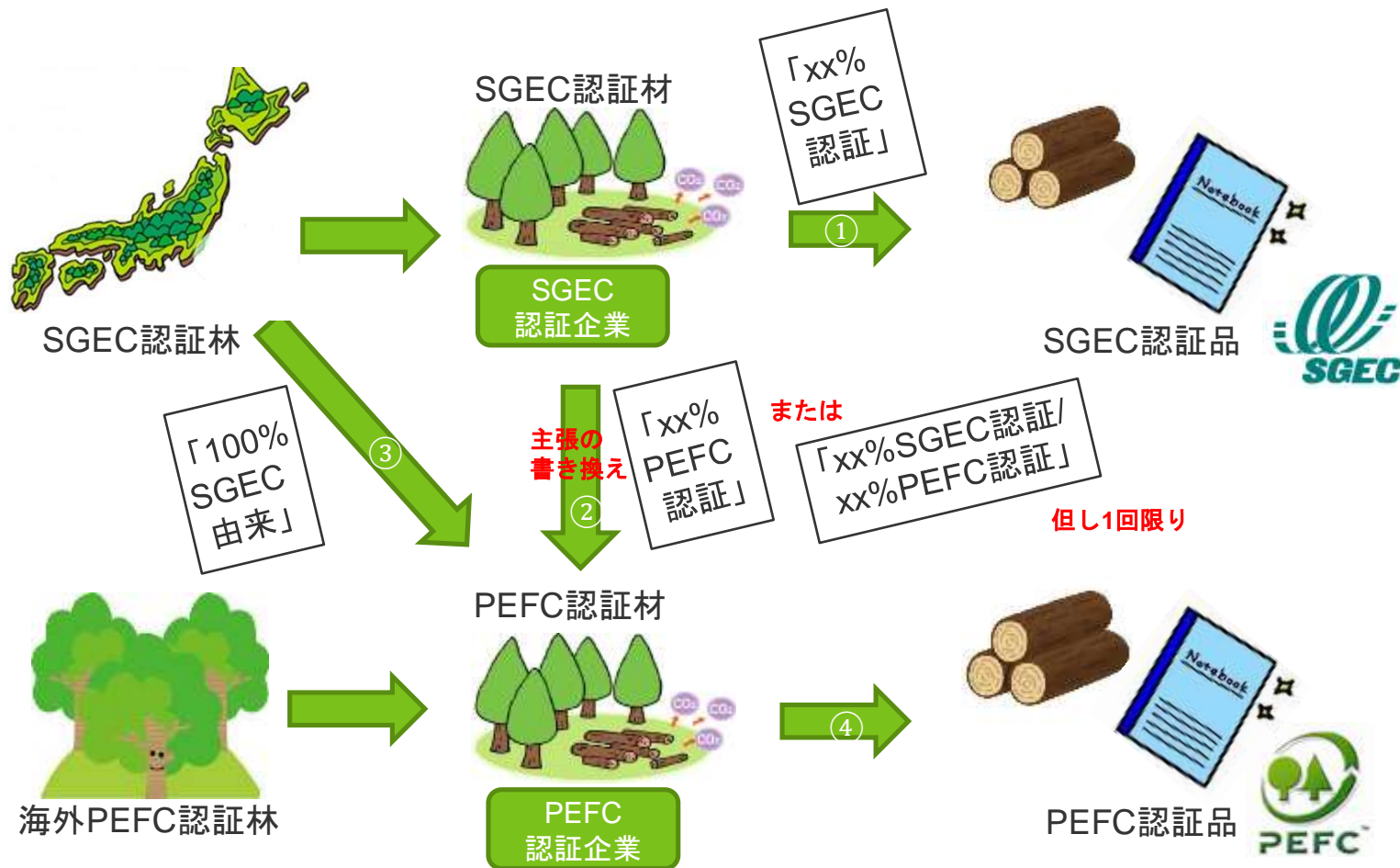
SGEC認証国産材 = PEFC認証材
として流通！～輸出も視野に

相互承認による 供給チェーンの移行



PEFCは「PEFCの正式な認証主張」以外は認めていない

➔SGEC認証材供給CoCチェーン ➔PEFC CoCチェーンに移行する

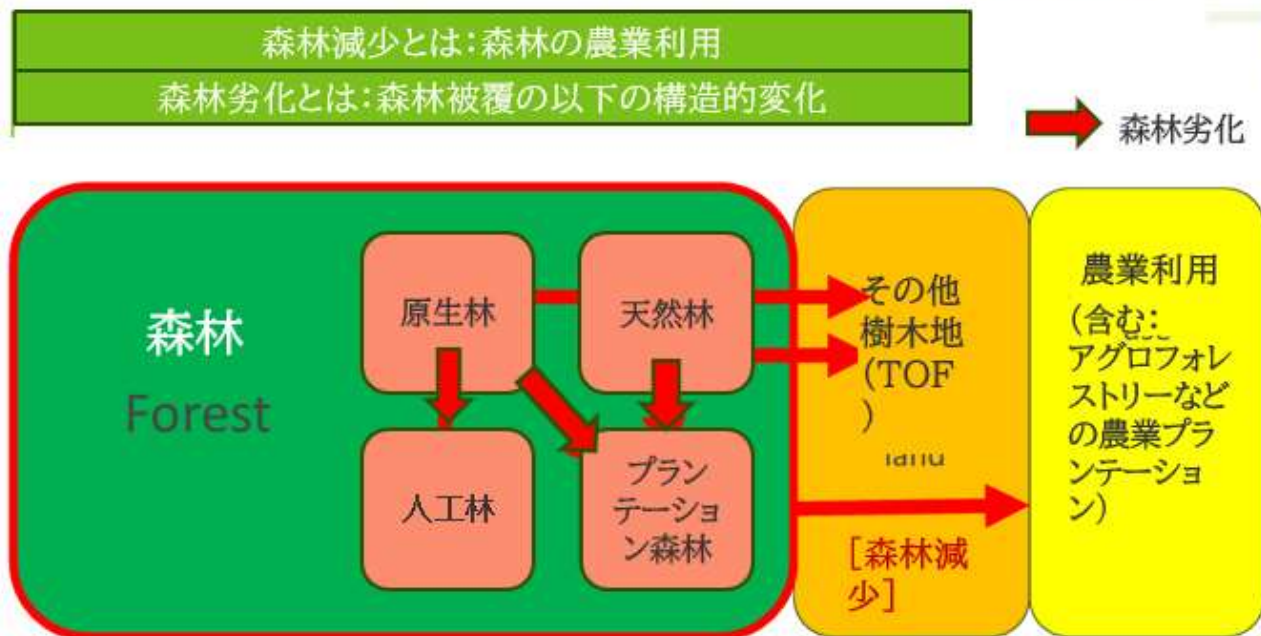


EUDRについて

- ➔ 施行：2023年6月・移行期間 2025年12月30日
- ➔ 原材料伐採箇所の**地理的位置情報の提示**が必須
- ➔ 「合法性」「持続可能性」の確認の厳格化、規制の強化
- ➔ 「PEFCにおいてEUDR用DDSの規定を策定」

EUDR ディフォレテーション・フリー

[森林減少及び森林劣化をもたらすものでないこと]



EUDRの改正（2025.12.23）

改正内容の概要

- ・ 全事業者の申請期限2026.12.30（中小規模事業者については2027.6.30）まで延長
- ・ DDステートメントを提出する義務と責任は、関連製品を最初に市場に出荷する事業者のみ
- ・ 参照番号の収集、保持の責任は、サプライチェーン上の最初の下流事業者のみ
- ・ 中小零細事業者は、簡易申告を1度だけ提出し申告番号を受け取る
- ・ 特定の印刷物（書籍、新聞、印刷写真など）は規制の対象外（EU製品分類法49章）
- ・ 欧州委員会は、簡素化に関するレビューを実施し、2026年4月30日までに報告書を提出

PEFCの対応

- ・ 本改正の影響を評価し、今後の対応（特に最も影響を受けるであろうPEFC DDS規格の修正）を検討



SGEC-EUDR DDS実施のための 要求事項の概要

SGEC 規準文書4-1 SGEC-EUDR デュー・デリジェンスシステム (SGEC-EUDR DDS) 実施のための要求事項の概要

SGEC-COC認証組織が、SGEC スキームを活用してSGEC認証原材料/製品をPEFC主張に変換してEU市場に輸出する場合

→ 「**PEFC-EUDR主張**」を行うためのDDS実施の手順を規定



PEFC規格の策定・改正を踏まえ、以下のSGEC規格の策定・改正

- (1) SGEC規準文書3の改正 (SGEC規準文書3:2025)
(2025年6月30日PEFCの相互承認、2025年9月1日施行)
- (2) 任意に適用可能なSGEC EUDR DDS 規格 (SGEC 規準文書4-1)の策定
(2025年4月PEFCの相互承認申請、現在審査中) ---里美さんに確認



世界の情勢

TCFD、TNFDなど温暖化防止・生物多様性の保全について

企業の取組み情報の開示の動き

→ 認証を取得していれば、開示に必要な情報の収集が容易

脱化石燃料の実現への関心の高まり

→ バイオマスエネルギー分野の需要の増加



木材・紙以外についての森林認証

→ 天然ゴム、ファッション（生地繊維）、樹液利用、
などなど...



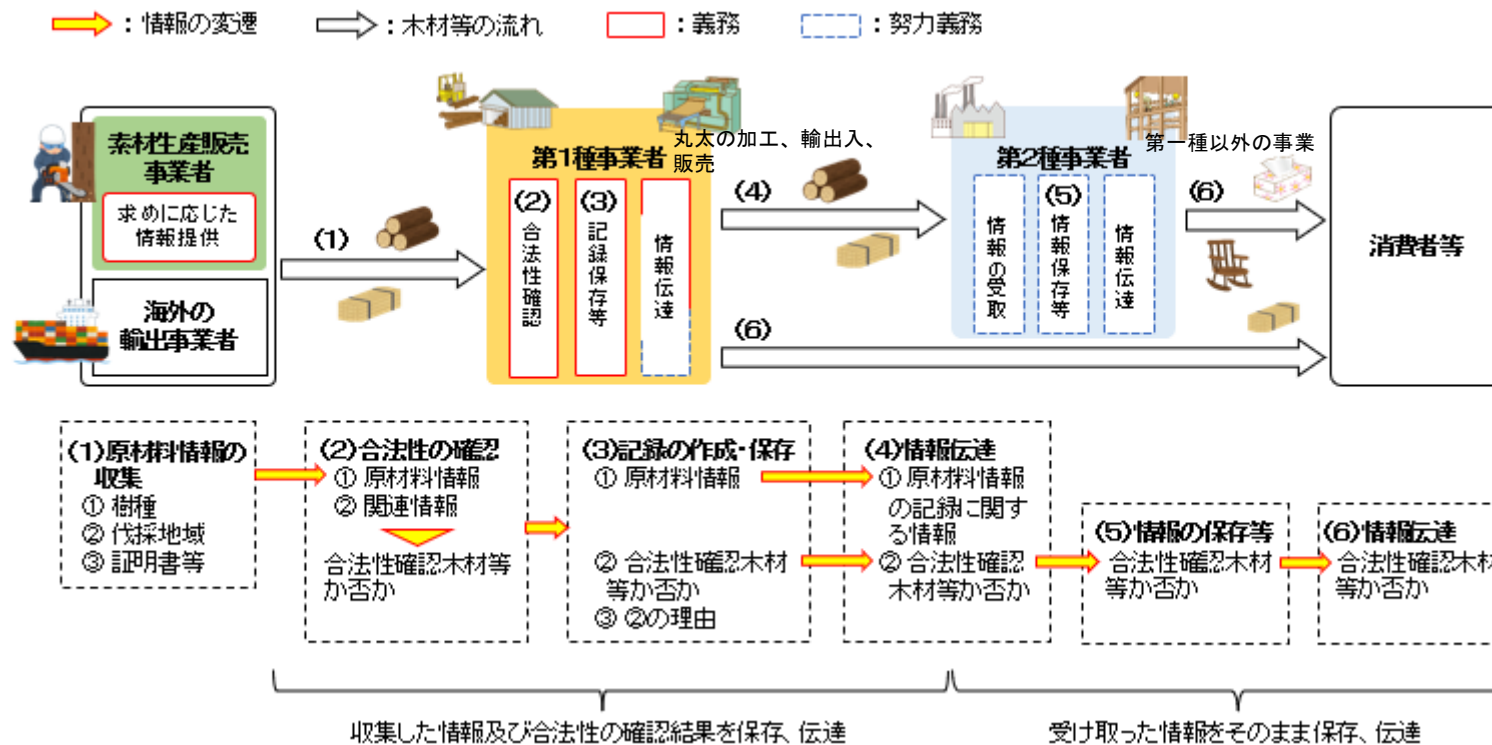
国内的情勢

- 特に都市部における木造建築需要の増加：
➔大手建設・不動産・ハウジング会社等による、問合せ・認証取得の動き
プロジェクト認証に対する関心の高まり
- 2025年大阪万博における認証材使用・供給実績：
大屋根リングにPEFC認証材が供給
一部海外パビリオン建設に認証材が使用・供給
- FIT/FIP関連でエネルギー分野のCoC認証取得の増加
- 地域における取組みの広がり
鹿児島県、長野県、鳥取県等で認証の推進に向け新たな動き



改正クリーンウッド法について

2025年4月施行：「第一種事業者の合法性等の確認が義務化」



- 伝達する情報：**
- ・方法（樹種、伐採地域、証明書等）
 - ・合法性原材料確認木材等であるか否か

（出典：林野庁）

「政令」第一条十二号中の記載：

（前略）木材等が違法伐採に係る木材等に該当しない蓋然性が高いことについて
 認証したことを示す情報 ➡ **「告示」にてSGEC/PEFCが指定された**

クリーンウッド法上で「合法」証明として活用できる情報の具体例



証明として活用できる情報の具体例（国産材）

① 森林認証制度による木材に対する証明（大臣から指定を受けた者による制度に限る）

（出典：林野庁）



（令和7年4月1日施行）

令和6年農林水産省・経済産業省告示第3号

合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律第六条第二項第二号の情報を定める政令の規定に基づき主務大臣が指定する者を定める件

合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律第六条第二項第二号の情報を定める政令（令和五年政令第三百四十二号）第一条第十二号の規定により、同号の主務大臣が指定する者の指定をしたので、次のとおり告示する。

十一 一般社団法人緑の循環認証会議（SGEC）

百四十八 Green Gold Label Foundation（GGLF）

百四十九 PEFC Council（PEFC）





SGEC/PEFC証明書例

参考②：SGEC/PEFC証明書例（素材生産販売事業者→第1種）

第1・素

○ FM認証を取得している森林所有者等が発行するSGEC認証材であることを示す文書は、クリーンウッド法の原材料情報の証明書として使用できます

樹種	等級	長さ	厚	幅	入	単位	材積	金額	適用
スギ									宮崎県

○○株式会社
 ○○○○ 部署
 代表 林野 太郎 様

納品書

発行日：YYYY年MM月DD日
 発行者：○○株式会社○○○○ 部署
 所在地：○○県○○市○○町 12-34
 代表：山元 花子

本体金額：¥ 999,999,999
 消費税：¥ 999,999,999
 合計金額：¥ 999,999,999

原材料情報：樹種
 原材料情報：伐採地域

・認証機関名-00×(認証番号)
 ・100%SGEC認証

原材料情報：証明書
 →この例では、SGEC認証材であることを示す文書(納品書)をクリーンウッド法上の証明書として使用している

17



森林認証取得のメリット



SGEC/PEFCが貢献できる17の項目



世界の多くの貧困な人々が住んでいる森において、小規模な森林所有者の持続可能な森林管理の実現を通じ、貧困の減少に貢献します



SGEC/PEFC森林認証は、森林から採取されるきのこなどの特用林産物の持続可能な生産を可能とし、食の安全に役立ちます



SGEC/PEFC森林認証を通じた健全な森林の維持は、森林の中を歩いたりハイキングを提供するなどによる森林は人々の健康や精神の安定に貢献します



SGEC/PEFC認証を通じた森林の持続可能な管理は、子供たちへ継続的に環境教育の場を提供するなど、教育レベルの向上に貢献します



SGEC/PEFC認証を通じた森林の持続可能な管理は、多くの女性に対し継続的な働く場を提供します



SGEC/PEFC認証材の建築利用、推進は持続可能なまちづくりに貢献します



SGEC/PEFC認証は、地域材に付加価値を与え、その利用促進に貢献するとともに、SGEC/PEFC認証製品のロゴが企業や消費者の責任ある選択を支援します



SGEC/PEFC認証を通じた森林の持続可能な管理は、人為的に排出されたCO₂を継続的に吸収することでカーボンニュートラルな資源・エネルギーの循環利用を促進します



SGEC/PEFC認証を通じた森林の持続可能な管理は、土砂の流出を減らし、河川や沿岸域の環境を改善し、水域生態系を保全します



SGEC/PEFC認証を通じた持続可能な森林管理の推進は、生物多様性を保全します



SGEC/PEFC認証を通じた森林の持続可能な管理は、雨水を蓄えるなど水の循環の維持に貢献します



SGEC/PEFC認証を通じた持続可能に管理されている森林から生産される木質バイオマスはクリーンエネルギーの、安定的な供給に貢献します



SGEC/PEFC認証を通じた持続可能に管理された森林は、地域での継続的な雇用を創出し、小規模企業の基盤になります



SGEC認証は地域材・国産材生産の振興による林産物の責任ある調達を推進します



SGEC/PEFC森林認証は、家族、コミュニティ、先住民の生活の確保に貢献します



SGEC/PEFC認証規格は、ISOとPEFC規準に準拠し多様な関係者の参画と透明性確保の原則を重視しています



SGEC/PEFC認証は地域からグローバルまで、すべての関係者のパートナーシップを促進しています

FM認証、COC認証を取得、認証製品を扱うことで、森林所有者・企業はSDGsに貢献！

認証製品を購入、使用することで、消費者もSDGsに貢献！





森林認証を取得することにより...



SDGs 達成への貢献



「認証材」であることの差別化⇒市場の優位性－ビジネスチャンス確保
自社製品の市場へのアクセスを向上⇒認証材・認証製品を扱う宣言企業も！



リスク管理、安全な調達源、透明性

違法伐採材が自らの製品やビジネスに入り込むことを回避、
政府推奨のグリーン購入にも合致



顧客・消費者へのコミットメント

自社のCSR、CSV方針を示すことができ、
企業ブランド、イメージの向上・改善に役立つ



地産材が国際的にも通用する認証材に→輸出も視野に



地域での関係者の連携強化、第三者の審査を受けることで、マネジメントシステムの構築、労働安全管理の改善、職員の意識改革等

エンドユーザーの環境意識が加速
→今が環境訴求を進めるタイミング！





認証制度・製品のプロモーションと広がり



SGEC/PEFC認証材を使用した建築物 ～東京五輪・大阪万博



東京都のスポーツ施設では初のSGEC/PEFCプロジェクト認証

「有明テニスの森公園クラブハウス・インドアテニスコート
構造用集成材を使用した屋根プロジェクト」
←小池百合子・東京都知事への認証書授与式（2019年8月）

新国立競技場の底部分
全国からの認証材を使用



東京五輪・選手村でのゲート
北海道紋別市、熊本からの
SGEC/PEFC認証材

2025大阪関西万博
オーストリアパビリオン



...ほか、大屋根リング、
海外パビリオンなどにも使用

楽譜部分は万博唯一の「プロジェクト認証」

～ 認証紙・木材製品の普及

ASKUL



unicharm
ユニ・チャーム



RHODIA



Tombow



認証木材の活用例 ー グループ認証

グループ森林管理認証の仕組み

- ・複数の所有者、事業体などが1つのグループとなり認証を取得する方法。

＜グループ組織＝グループ主体と加盟者＞

グループ主体
例：森林認証協議会

加盟者
例：森林組合

加盟者
例：林業事業者

加盟者
例：自治体

＜グループ主体＞

グループの加盟者を代表する主体。
認証区域の持続可能な森林経営やその他の
関連要求事項の遵守に関して、責任を負う。

＜加盟者＞

森林所有者・管理者、グループ管理認証の
対象範囲に含まれるその他の主体。
森林管理の法的権利を有し、その持続可能な
森林管理に関する要求事項を実行する。

- ・グループの構成員で認証費用を分割できる



グループ認証32件の状況

SGEC-FM認証取得者	認証林面積	グループ参加者 (主体以外) <small>▼</small>	都道府県
北鹿地域林業成長産業化協議会	7,587.73	5	秋田県
豊永林業株式会社	1,280.73	3	奈良県
富士箱根地域森林認証協議会	1,565.47	7	静岡県
富士山森林認証グループ	3,329.04	4	静岡県
飯能市森林認証協議会	2,229.68	3	埼玉県
はこだて森林認証推進協議会	79,588.91	23	北海道
根羽村SFM森林認証協議会	7,312.23	6	長野県
21世紀循環の森づくり推進協議会	3,853.92	3	北海道
とちぎ森林認証協議会	128,344.68	33	北海道
滝上町森林組合グループ	4,722.15	3	北海道
上小森林認証協議会	9,442.89	6	長野県
循環の森づくり推進協議会	7,337.62	3	北海道
～信州カラマツの故郷～ 佐久森林認証協議会	25,441.01	11	長野県
静岡市林業研究会 森林認証部会	4,354.83	9	静岡県
さつませんだい森林認証協議会	2,652.65	12	鹿児島県
埼玉県中央部森林組合	525.91	1	埼玉県
高知嶺北森林認証協議会	991.90	5	高知県
きりしまの森認証協議会	4,213.09	4	鹿児島県
上川森林認証協議会	93,671.24	36	北海道
鹿屋市森林認証協議会	1,995.02	5	鹿児島県
鹿沼市森林認証協議会	7,311.99	5	栃木県
オホーツクフォレストネットワーク	29,728.22	7	北海道
オクシズ森林認証協議会	1,485.02	5	静岡県
岡山県森林認証・認証材普及促進協議会	88,448.85	21	岡山県
太田川流域SGECネットワーク	1,770.42	3	広島県
大分森林認証協議会	48,416.42	12	大分県
愛媛県林材業振興会議	62,774.22	20	愛媛県
伊豆半島森林認証ネットワーク	1,172.07	4	静岡県
天草地域森林組合・市町連絡会議	24,140.21	4	熊本県

全認証面積 2,206,601 ha
 グループ認証面積 707,239 ha

全認証面積に占める割合 32%
 グループ認証参加者 287

(2026年3月末時点)



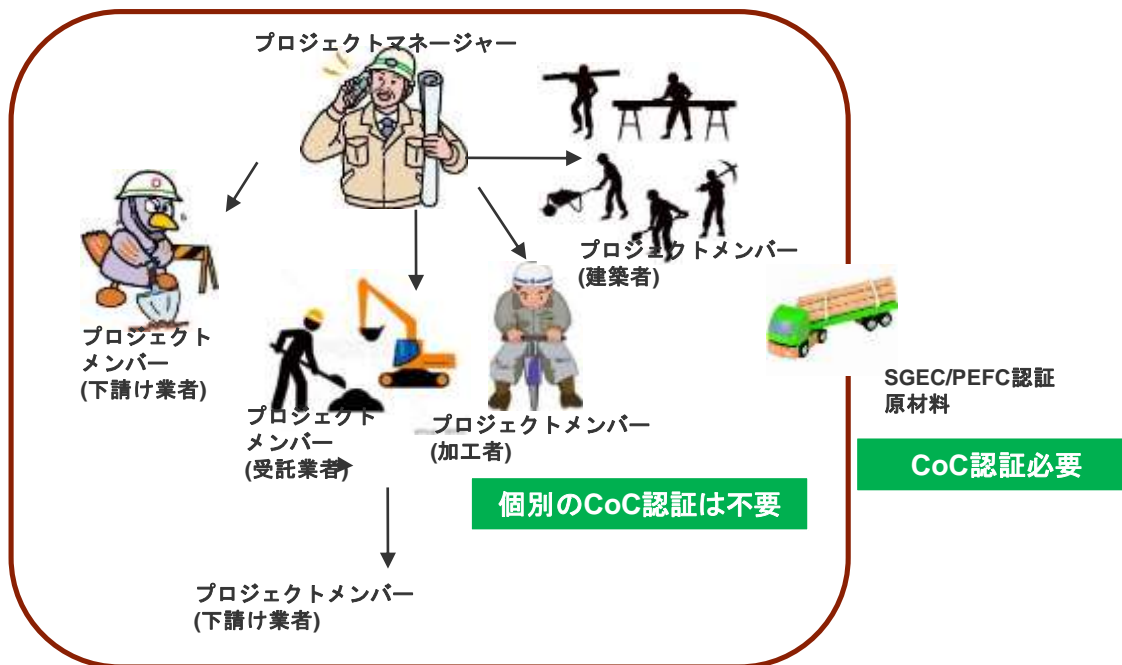
認証材の活用例 2 ープロジェクト認証





プロジェクト認証の仕組み

プロジェクト認証とは、建物や船などの建築において複数の業者が関わる場合に、この建築をプロジェクトとして定義し、認証を受ける仕組みです。プロジェクトマネージャーが事業を統括。建築物全体を審査、認証する全体認証と、例えば家の柱、建物の床部分など、一部のみを認証する部分認証がある。



プロジェクト認証への関心の高まりと実績

特に都市部における木造建築需要の増加

→ 他に大手建設会社、ハウジングメーカー、ゼネコンが検討中

1	静岡県富士山世界遺産センター展示棟木格子プロジェクト	2017	静岡県	18	道の駅を核としたまちの賑わい拠点施設整備事業	2022	北海道
2	日光市本庁舎・栗山庁舎	2018	栃木県	19	道の駅ラベンダー園ウッドチップ園路	2022	北海道
3	木製治山堰堤設置プロジェクト	2019	静岡県	20	当麻町産材活用促進住宅等新改築プロジェクト	2022	北海道
4	有明テニスの森公園クラブハウス・インドアコート屋根トラス梁部	2019	東京都	21	H10梅田茶屋町プロジェクト	2022	東京都
5	株式会社ゲンボク本社（床材認証プロジェクト）	2019	徳島県	22	H10青山プロジェクト	2022	東京都
6	十勝大雪森林組合新庁舎	2019	北海道	23	株式会社フォレスト萩原ハウス兼モデルルーム	2023	埼玉県
7	西十勝森林組合新築事務所（構造材）	2019	北海道	24	PMO池袋プロジェクト	2023	東京都
8	個人住宅	2019	大阪府	25	H10芝公園プロジェクト	2023	東京都
9	銘建工業株式会社新社屋	2020	岡山県	26	野村不動産溜池山王ビルプロジェクト	2023	東京都
10	飯能商工会議所 会館	2020	埼玉県	27	新得町役場庁舎	2023	北海道
11	飯能市	2020	埼玉県	28	滝上町国民健康保険診療所特定プロジェクト	2024	北海道
12	鹿沼市役所新庁舎木造・木質化プロジェクト	2020	栃木県	29	道の駅「ほうじょう」新築工事プロジェクト	2024	鳥取県
13	野村不動産株式会社（H10平河町）	2020	東京都	30	個人住宅M邸	2024	大阪府
14	高惣木エビル（日本初の純木造7階建てビル）	2021	宮城県	31	PMO新橋Ⅱプロジェクト	2025	東京都
15	北海道美深町仁宇布小中学校建設（全体認証）	2021	北海道	32	宇田川町42計画プロジェクト	2025	東京都
16	個人住宅	2021	栃木県	33	三井不動産インダストリアルパーク（MFIP）海老名 & forest	2025	神奈川県
17	道の駅おとふけ	2021	北海道				

2025年11月

全国に着実に着工案件が増加





プロジェクト認証例

日本初のSGEC/PEFCプロジェクト認証

「静岡県富士山世界遺産センター」
逆さ富士の木格子



木製治山堰堤〈静岡〉



森林組合 新事務所〈北海道〉



M工業本社 新社屋〈岡山〉



Y興行(G社本社 床材)
〈徳島〉



野村不動産 オフィスビル「H'IO (エイチワンオー)」
〈千代田区平河町〉



高惣木エビル〈仙台〉



仁宇布小中学校〈北海道美深町〉



初のSGEC/PEFC
認証個人住宅
〈大阪〉



...他にも“道の駅”、“小中学校”など続々と進行中！
日本全国に、SGEC/PEFCプロジェクト認証を広げましょう

新規格： 「プロジェクト調達認証」策定



現行プロジェクト認証：COC認証規格の中に規定されている「ガイド」に基づき実施
→ PEFCでは、「ガイド」に替え、COC規格から独立した規格の策定の為、タスクフォースで検討を重ねた
→ 同規格は2026年5月のPEFC総会で採択され、このPEFC規格に基づくSGECのプロジェクト規格の策定を行う必要がある。

規格案のポイント

目的：プロジェクトで使用される原材料が、持続可能な方法で管理された森林、リサイクル材料、および PEFC 管理材から調達されることを確保し、組織が PEFC プロジェクト調達認証の主張および宣言を行えるようにする

規格の位置付け：PEFC ST 2002:2020「森林および森林外樹木産産品の COC に関する要求事項」に基づいて策定された**独立した規格**

プロジェクト：定められた認証範囲内で森林及び森林外樹木産原材料を使用する建設、改修、建築、土木工事、施設、アメニティ、内装、または芸術作品を指す

認証の種類：単一プロジェクト認証(一回限り)に加え、単一のマネジメントシステムの下で複数のプロジェクトを対象とした**マルチプロジェクト調達認証**を位置づけ、マルチサイト組織対象の認証も可能

商標ラベル：プロジェクト終了後も引き続き使用可能。なお、申請プロジェクト、完了プロジェクト別に可能なメッセージも規定

SGEC・PEFCの 普及に向けた活動



「責任ある調達」をしている証明が、 商標(ロゴマーク)及びイニシャルの使用



SGEC、PEFCの商標使用ができるのは...

認証を取得している企業

非認証の企業・ブランド・店舗など

製品上使用（製品に言及）
製品上 / カタログ / 名刺 /
ウェブサイト / その他

製品外使用
（製品に言及しない・プロモーション用）
店舗 / カタログ(使途限定) / その他



- どちらも、
- ・ 使用契約
 - ・ ロゴライセンス番号が必要、
 - ・ 使用規則の遵守が必要

しかも！ ・ 登録料、使用料が無料！



世界で認められ受け入れられているPEFC

政府・機関



クリーンウッド法
(日本)



米国レーシー法



Australian Government
豪州違法伐採禁止法



TPAC(オランダ)



CPET(英国)



Governmental bodies 政府・機関

環境団体・協会



持続可能な開発のための
世界経済人会議

Third Party/eNGOs/associations 環境団体・協会

グローバルブランド



Global Brand Owners グローバルブランド



53 PEFC International Stakeholders/sponsors/members

PEFC/01/00-01

大阪・関西万博パビリオンでの 認証材利用/供給実績

<海外パビリオン>

- ・43パビリオンのうち、建築への木材使用は19パビリオン+ 竹材利用 2パビリオン
- ・木材使用パビリオンのうち、**6パビリオンでPEFC認証材が供給**

パビリオン	木材利用	PEFC認証材利用	パビリオン	木材利用	PEFC認証材利用
北欧館	○		スペイン	○	
アイルランド	○		タイ	○	
アメリカ	○	○	チェコ	○	○
イタリア	○	○	中国	竹材利用	
インドネシア	○		チリ	○	
ウズベキスタン	○		ドイツ	○	○
オーストラリア	○	○	バーレーン	○	
オーストリア	○	○ (プロジェクト認証)	ハンガリー	○	
カタール	○		ポーランド	○	
スイス	○		マレーシア	竹材利用	
			ルーマニア	○	

<大屋根リング>

- ・大屋根リングの柱材としてPEFC及び一部SGEC認証材が供給

<国内パビリオン>

- ・公式パビリオン4館のうち木材使用：2パビリオン
(PEFC又はSGEC認証材の使用は確認されていない)
- ・民間パビリオンのうち木材使用3，うち住友館でSGEC認証材を利用

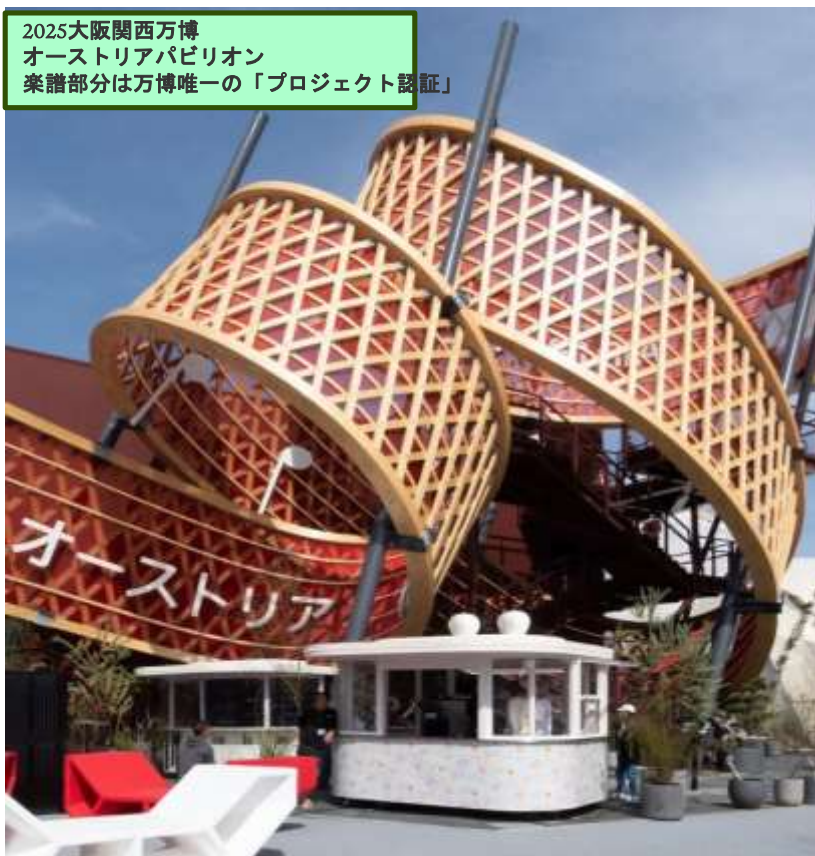
注) 認証材利用状況についてはPEFC評議会及びSGEC/PEFCジャパンの調査による。

大阪万博で唯一の「プロジェクト認証」例！

オーストリアパビリオン：

- ・ 木製のスラットをボルトで固定した湾曲した五線譜の形
- ・ 木材はオーストリア・スプルースのPEFC認証材で、オーストリアで加工・日本に運ばれ組み立て
- ・ PEFCオーストリアとSGEC/PEFCジャパンの協働によりPEFCプロジェクト認証（建築物としての認証）を取得

2025大阪関西万博
オーストリアパビリオン
楽譜部分は万博唯一の「プロジェクト認証」



プロモーション活動： SNS/ネットメディア活用

・ Facebook



・ インスタグラム



・ X



・ ニュースレター（日英）



2025年

[Vol.77\(2025年12月3日発行\)](#)

[Vol.76 \(2025年10月1日発行\) English](#)

[Vol.75 \(2025年7月23日発行\) English](#)

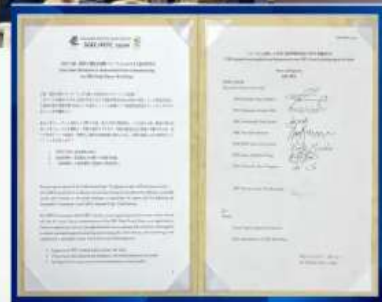
[Vol.74 \(2025年6月2日発行\) English](#)

[Vol.73 \(2025年3月27日発行\) English](#)

[Vol.72 \(2025年1月22日発行\) English](#)

プロモーション活動： フォーラムの開催

SGEC/PEFC大阪万博記国際フォーラムの開催
2025年5月12日於：大阪国際交流センター



参加国PEFCによる大阪共同宣言

デンマーク / インドネシア / イタリア /
日本 / スペイン / タイ / 本部
オーストリア (バーチャル)



林野庁 福田課長



万博協会 永見局長



大阪府木連 副会長



PEFCオーストリア
会長



SGEC/PEFCジャパン
参与



TFCC (PEFCタイ)
会長



PEFCスペイン
事務局長



PEFCイタリア
事務局長



PEFC本部
アジア地域マネージャー



「大阪共同宣言」

2025大阪・関西万博記念国際フォーラムにおける大阪共同宣言 Joint Osaka Declaration in International Forum Commemorating the 2025 Osaka/Kansai Expo

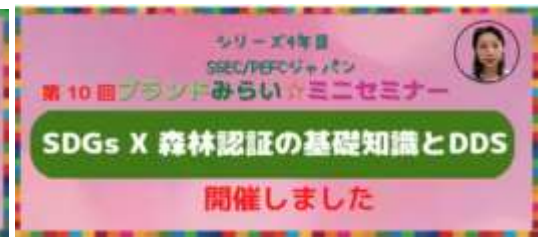
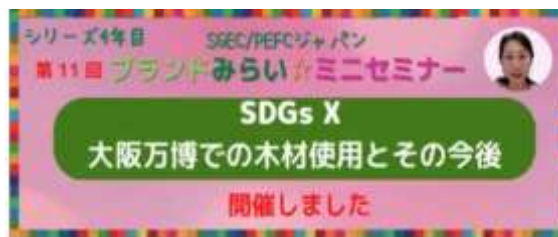
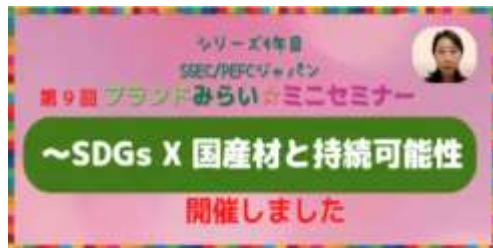
大阪・関西万博のテーマ、「いのち輝く未来社会のデザイン」を認識し、このテーマ具体化のために必要な世界における持続可能な社会と経済の実現、そして国連が決定した持続可能な発展目標（SDGs）の達成にとっての基盤として森林認証制度が欠くべからずものであることを再確認して、

私たち本フォーラムに参加したPEFC本部、及びPEFC関係国は、この2025大阪・関西万博を記念した本フォーラムを機会に、世界の森林を守り育て、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の項目について結束を一層強め、緊密な情報交換と協力と共に、目標の達成に向け活動を行っていくことを宣言します：

- 1 世界のPEFC認証森林の拡大
- 2 認証原材料・認証製品の市場への流通を促進
- 3 一般消費者への認証制度の重要性の認知度向上

プロモーション活動： セミナー等の開催

- ・ミニセミナーの開催：3回
(～SDGs x 国産材と持続可能性、～SDGs x 森林認証の基礎知識、
～SDGs x 大阪万博での木材利用とその今後)



- ・青少年、子供たちへの普及
中学生、高校生の修学旅行におけるSDGs 関連企業・団体訪問学習に対応
2025年は愛知県の中学校、岡山県、福岡県の高校を対象に実施



愛知県大治町中学校



岡山県立高校



福岡県立京都高校

プロモーション活動： イベント開催・フォーラム等への参加

イベント等

- ・秋田県上小阿仁村育樹祭（10.29）参加予定→熊野出現情報により中止

- ・展示会への出展及び会場でのセミナーの実施



セミナー



展示ブース

フォーラム、セミナー等への参加

- ・「みんなで作る持続可能な森林と社会キックオフフォーラム」（5.30）への参加
- ・万博関連イベント（マレーシア館、オーストラリア館、インドネシア館、オーストラリア館への参加）
- ・地方セミナー等への参加
鳥取県北栄町道の駅「ほうじょう」開駅式（4.25）、鳥取県グループ森林管理認証取得セミナー（6.9）、鹿児島県認証促進セミナー（8.28-29）、長野県「SGEC認証材のこれからを考える会」（11.6）、山形県おきたま林業(株) SGEC森林認証取得報告会（11.6）、北海道滝上町国民健康保険クリニックプロジェクト認証書授与式（11.18）、北海道森林認証活用セミナー（11.20）



プロモーション活動： イベント開催



第5回：SGEC/PEFCロゴ集めコンテスト

森林認証に対する認知度を高め、森林認証および認証製品のプロモーションを進めるため、「森林認証促進協議会」と連携。



	2025年	2024年	2023年
フォロワー数	17,847	6,615	4,450
クリック数	8.9%	3.3%	0.5%
リポスト数	29,873	3,686	1,624
画像投稿数	905	403	225

「皆で木を植えよう！」SGEC/PEFC植樹祭

SGEC/PEFC2025年植樹祭（11.8）は出現情報があり延期

→2026年4月に実施

森のコンサートや
バーベキューなども！



プロモーション活動： 認証製品の製造・販売拡大に向けて

2025年中、約60の企業、特にエンドユーザーを対象にSGEC/PEFC認証原材料・製品の製造・販売の拡大に向けた働きかけ・意見交換をおこなった。

チャンピオン企業*とは引き続き連携し、認証製品の拡大に努力。

この結果、新たな認証取得を実現したほか、日本で初めてのPEFCリサイクル製品の製造、販売を実現

*「チャンピオン企業」：PEFC認証制度を支持し、自社の製品にPEFCラベルに誇りを持って使用し、PEFCと提携・共同していくメーカー、ブランドをいう。

ユニ・チャーム株式会社



株式会社
ジョイフル本田



エイピーピー・ジャパン
株式会社



森林林業基本計画改正に向けFSCと連名で 林野庁へ要請(2025.9.30)

持続可能な森林・林業・木材産業の発展のため、
以下において「森林認証制度」を適切に位置づけることを提案

1. 生物多様性保全への貢献
2. 森林・林業・木材産業の持続的かつ健全な発展への貢献
3. 林業・木材産業における労働安全の確保
4. 国産木材の持続可能性と国際競争力の向上
5. 輸入木材の持続可能性の担保



2025年中の新トピック

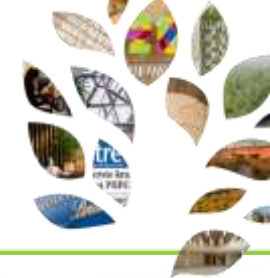
- ・日本で初めての、リサイクル材100%使用の、「PEFCリサイクル」ラベル付き製品が発売



- ・鹿児島県で新たな動き：県初のSGEC材出荷式（202512.16）



PEFCは世界各国で連携して森を守り、 SDGsに貢献していきます



毎年5月PEFC加盟国会議 ~2025年はベトナム・ホーチミンにて、



SGEC、PEFCは 日本と世界の森を守るマークです

SGEC/PEFCジャパン

〒100-0014東京都千代田区永田町2-14-2-310

Tel 03-6273-3358 info@sgec-pefc.jp





“目標を高く掲げ、
お互いに助け合って
高みを目指そう”



SGEC/PEFCジャパン
(一社)緑の循環認証会議

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2
Tel 03-6273-3358 info@sgec-pefc.jp

